

I 事業報告

1 事業概要

市から指定管理業務を受託して10年目となる令和6年度は、開館以来最多となる22,628人の観覧入場者をお迎えし、歌川広重の作品を中心とする質の高い浮世絵版画の展示や、体験・学習などの仕組みを通じて、多くの皆様にさまざまな楽しみと満足感を持ち帰っていただくことができた。

8つの展覧会を企画した展示事業は、国民文化祭「清流の国ぎふ文化祭2024」関連行事として、10月3日から始まった秋季特別企画展「浮世絵おじさんフェスティバル」が、12月8日までの56日間に開館以来最多の8,006人の観覧入場者を集めた。「恵那市こども版画コンクール20周年記念広重賞作品展」も同時開催し、恵那市全体の観光客が増加する中、当館独自の企画が注目され、訪問先として多くのかたに足運んでいただくことができた。三代歌川豊国の画業を取り上げた春季特別企画展や年に一度の特別展観「溪斎英泉・歌川広重 木曾海道六拾九次之内」のほか、「浮世絵グルメツアー」、「浮世絵鑑賞のすすめ」「“もっと”愛でたい富士山」「狂歌とめぐる広重の東海道」「江戸名所ガイドブック」などの企画展も、広重の浮世絵が身近に感じられる分かりやすいタイトルと内容が好評であった。

教育普及事業は、大河ドラマを意識した「黄金期の浮世絵出版界」と題した連続6講座を開催した。また、第21回こども版画コンクールを、実行委員会形式から美術館が主体となる形に変更して開催。市内のこども園、保育園、小中学校から応募された2,236作品から選ばれた受賞、入選作品171点を展示した。版画制作の授業に応援講師を派遣する制度では、要請のあったこども園3園と小学校3校へ、延べ9日、のべ19人の版画経験講師を派遣した。

地元の企業に観覧料相当額をご負担をいただき、観覧者の入館料を無料とするスポンサー制度は、令和5年度に引き続き6企業からご支援をいただくことができ、毎週水曜日のフリーウェンズデーが3期目、毎週金曜日のフリーライダーが7期目となった。水曜日と金曜日の観覧入場者は7,572人で、総観覧入場者の約33.5%を占め、無料入館者の増加に合わせてコロナ禍前に減少した有料入館者も大幅に増加した。

収蔵作品の購入は、財団の美術作品取得資金を活用して、広重最晩年の大作雪月花3部作の花に当たる「阿波鳴門之風景」を購入し、「武陽金沢八勝夜景」（令和4年度購入）「木曾路之山川」（令和5年度購入）と合わせ、雪月花3部作をすべて収蔵することとなった。

収益事業は、復刻版画や展示内容や季節に合わせた商品、当館オリジナルの「広重おじさん」関連商品などが好評で、館内とウェブショップの販売、共に令和5年度を上回る売上があった。

そのほか、歌川広重の浮世絵を収蔵する館同士として、「友好協力協定」を締結しているポーランド共和国の日本美術技術博物館マンガとの交流では、当館学芸員2名が4月26日から30日にかけてマンガ館を訪問し、施設及び展覧会の視察、今後の共同事業に関する

1. 展示事業

① 特別企画展・特別展観

	事業名	事業概要	開催期間
1	没後160年記念 三代歌川豊国―「人物」と「街道」を描く	三代歌川豊国（初代国貞）は、江戸時代末期に最も人気を博した浮世絵師で、役者絵、美人画や名所絵など幅広い画題で筆をふるった。広重と深い親交があり、合作シリーズも手掛けている。本展では、街道物を中心に三代豊国の画業を紹介した。 観覧者数 3,925人	前期 4月4日(木)～ 5月6日(月・祝) 後期 5月10日(金)～6月16日(日)

2	溪斎英泉・歌川広重 木曾海道六拾九次之内	「木曾海道六拾九次之内」を揃いで出陳する年に一度の展覧会。京から江戸の道のりや名所名物を紹介する地誌『木曾路名所図会』を読み解きながら浮世絵を通した中山道の旅を紹介。新規収蔵した広重晩年の名作「木曾路之山川」をお披露目した。 観覧者数 2,818人	8月29日(木)～9月29日(日)
3	浮世絵おじさん フェスティバル	浮世絵に登場する味わい深い名もなき人々を、当館では親しみを込めて「おじさん」と呼び、展覧会やグッズを展開してきた。今回は、歌川広重を中心とした浮世絵師たちが描いた個性豊かな「おじさん」たちを紹介し、見れば見るほど面白い浮世絵の知られざる“沼”へ案内した。 観覧者数 8,006人	前期 10月3日(木)～ 11月4日(月・祝) 後期 11月8日(金)～12月8日(日)

② 企画展

	事業名	事業概要	開催期間
1	浮世絵グルメツアー	旅の楽しみといえば名所に土産物、そして美味しいご当地グルメ。江戸から諸国まで、浮世絵を通して全国のご当地グルメツアーへ案内した。 観覧者数 1,601人	6月20日(木)～7月21日(日)
2	浮世絵鑑賞のすすめ	最新ファッションを身にまとった女性や人気の観光地、見頃を迎えた花々や美しい鳥など、当時の「今」が詰まっている浮世絵を通じて「浮世絵って何？」から鑑賞を楽しむヒントまで紹介した。 観覧者数 1,929人	7月25日(木)～8月25日(日)
3	“もっと” 愛でたい富士山	江戸庶民の信仰対象とされた霊峰・富士山。季節や天候によりさまざまな表情を見せるその姿は、多くの人を魅了した。新年の寿ぎにふさわしい、思わず愛でたくなるような目出度い富士山の姿を紹介した。 観覧者数 1,150人	12月12日(木)～ 令和7年1月19日(日)
4	狂歌とめぐる 広重の東海道	機知に富んでクスッと笑える狂歌と共に、のびやかな風景描写を魅力とする「東海道五拾三次」（通称、狂歌入東海道）を、江戸から京までそろいで紹介した。 観覧者数 1,318人	1月23日(木)～ 2月24日(月・祝)
5	江戸名所ガイドブック	初代広重と二代広重が手掛けた江戸の名所、名店、名物を案内する絵本『絵本江戸土産』と名所絵から、江戸の観光スポットとともに江戸で生きた人々の文化や営みを紹介した。 観覧者数 1,881人	2月28日(金)～3月30日(日)
6	令和7年度 実施展覧会の企画準備		
7	令和8年度 企画展に関する調査、研究		

2. 教育普及事業

	事業名	内 容	時 期
1	連続講座（全6回） 黄金期の浮世絵出版界	18世紀末を代表する版元や浮世絵師を各回取り上げ、江戸町人文化の隆盛と共に役者絵や美人画などの浮世絵版画が目覚ましく発展した天明・寛政期への理解を深めた。 4/13(土)「葛屋重三郎 江戸の文化プロデューサー」池田芙美 氏 5/11(土)「喜多川歌麿を味わう」山本ゆかり 氏 6/8(土)「勝川春章と歌川豊国 役者絵の発展」渡邊晃 氏 9/7(土)「江戸のヴィーナス 鳥居清長の美人画」田辺昌子 氏 10/5(土)「葛飾北斎 知られざる顔」日野原健司 氏 11/9(土)「東洲斎写楽研究の現状」浅野秀剛 氏	
2	学芸員実習の受け入れ	学芸員資格取得希望の学生等を対象に募集したが、希望者なし。	
3	ミュージアムナイト (夜間開館)	恵那市商店街連合会による「恵那納涼夏まつり盆踊りの夕べ」に合わせて午後8時まで無料開館とした。	8月14日(水)午後8時まで
4	夏休みイベント	①「浮世絵クイズ」に挑戦してみよう！ 浮世絵の基礎知識や出品作品に関連したクイズを出題 ②撮影スポットの設置 出品作品(拡大図)を背景に自由に撮影できるスポットを設置	浮世絵鑑賞のすすめ 7月25日(木)～8月25日(日)
5	こども版画コンクール 応援講師の派遣	こども園3園と小学校3校から、こども版画コンクール参加作品制作授業に講師派遣の希望があり、延べ9日、延べ19人の応援講師を派遣した。	9月4・24・25日 11月1・13・22日 12月4・6・11日
6	第21回恵那市こども版画コンクールの開催	自分の住むまちのよさや、ふるさとへの愛着をテーマとして実施。 応募総数2,236点、特別賞18点、奨励賞28点、入選125点、計171展を展示	作品展 2月18日(火)～3月2日(日) 表彰式(広重賞ほか特別賞及び奨励賞) 3月2日(日)
7	恵那市こども版画コンクール20周年記念広重賞作品展の開催と記念誌の制作	国民文化祭「清流の国ぎふ文化祭2024」の関連行事として、秋季特別企画展「浮世絵おじさんフェスティバル」の開催期間に歴代広重賞作品をメインラウンジで展示するとともに、市の補助金を活用して、コンクール20年の歩みをまとめた記念誌を制作した。	前期 10月3日(木)～ 11月4日(月・祝) 後期 11月8日(金)～12月8日(日)

3. その他の事業

1	企業に観覧料相当の金銭的負担をいただき観覧料を無料とするスポンサー制度は、(株)銀の森コーポレーション、金子建築工業(株)、(株)サラダコスモの3社で金曜日に、(株)エナ重機、ナカヤマ・グループ、(株)デジタの3社で水曜日に実施した。スポンサー制度による水曜日と金曜日の観覧入場者は7,572人で、総観覧入場者の約33.5%を占めた。
2	財団で積み立てた美術作品取得資金を活用した作品購入 (歌川広重「阿波鳴門之風景」1点、11,000,000円)
3	国内外の美術館、博物館との情報共有や情報交換を通じた連携と交流を行った。 4月26日から30日にかけて「友好協力協定」を締結しているポーランド共和国の日本美術技術博物館マンガを当館学芸員2名が訪問し、施設及び展覧会の視察、今後の共同事業に関する協議などを行った。また、11月29・30日には、館長が恵那市とともに先方の開館30周年記念式典に参加し、交流を深めた。

4. 収益事業（収益事業会計）

ミュージアムショップ運営

- (1) 美術館関連商品を販売した。
- (2) 展覧会関係グッズ、図録を販売した。
- (3) オリジナル商品を企画制作し販売した。
- (4) インターネットによるグッズ・図録のネットショップ販売を行った。

5. 管理事業（法人会計）

- 1 理事会・評議員会を適切に運営した。
- 2 公益財団法人を適切に運営した。
- 3 美術館の施設を適切に管理した。

2 理事会に関する事項

会 議 名	開催(議決)年月日	件 名	
第1回理事会	令和6年5月23日	第1号議案	令和5年度事業報告及び附属明細書の承認について
		第2号議案	令和5年度収支決算書の承認について
		第3号議案	事業報告等に係る定期提出書類の承認について
		第4号議案	処務規程の変更について
		第5号議案	定時評議員会の招集について
		報告1	職務執行状況の報告について
		協議・報告	①定時評議員会への評議員選任議案の提出について ②定時評議員会への理事選任議案の提出について ③定時評議員会への監事選任議案の提出について ④理事長・副理事長・専務理事の選任案について
第2回理事会	令和6年10月9日	第1号議案	令和6年度補正予算書(10月補正)の承認について
		第2号議案	就業規程の変更について
		第3号議案	美術作品取得資金の取り崩し及び作品購入について
		第4号議案	臨時評議員会の招集について
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②令和7年度展示・講座事業計画(案)について ③第21回恵那市こども版画コンクールについて ④基本財産の運用先の変更について
第3回理事会	令和7年3月11日	第1号議案	職員の給与等に関する規程の変更について
		第2号議案	令和7年度事業計画書の承認について
		第3号議案	令和7年度収支予算書の承認について
		第4号議案	令和7年度資金調達及び設備投資に係る見込みについて
		協議・報告	①役員の職務執行状況及び事業経過諸報告について ②次回の理事会の開催と定時評議員会の招集(案)について ③スポンサー制度の申し込みについて ④第21回及び第22回恵那市こども版画コンクールについて ⑤日本美術技術博物館マンガとの事業協力について

3 評議員会に関する事項

会 議 名	開催(議決)年月日	件 名	
定時評議員会	令和6年6月11日	報告1	令和5年度事業報告について
		第1号議案	令和5年度決算書(貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書)の承認について
		第2号議案	評議員の選任に関する承認について
		第3号議案	理事の選任に関する承認について
		第4号議案	監事の選任に関する承認について
		報 告	①理事長・副理事長・専務理事の選任について ②令和5年度事業計画及び収支予算、職務執行状況について
臨時評議員会	令和6年11月14日	第1号議案	定款の一部変更について
		第2号議案	評議員の選任に関する承認について
		第3号議案	提案日(決議日)について

4 登記事項

登記原因年月日	申 請 先	事 項	登 記 年 月 日
令和6年6月11日	岐阜地方法務局中津川支局	理事・評議員・監事の選任	令和6年6月27日
令和6年11月14日	岐阜地方法務局中津川支局	評議員の選任	令和6年11月25日

5 役員に関する事項

役職名	人 数	氏 名	就任年月日
理 事 長	1	長谷川 佳 子	平成24年4月1日
副理事長	1	小 嶋 初 夫	令和2年6月9日
専務理事	1	伊 藤 英 晃	令和4年6月10日
理 事	11	市 川 彰	令和2年6月9日
		大 塚 康 芳	平成24年4月1日
		大 畑 雅 幸	令和6年6月11日
		小 川 智 明	令和2年6月9日
		瀬 瀬 満	平成27年6月19日
		河 野 ほのみ	令和4年6月10日
		津 田 卓 子	令和6年6月11日
		西 部 良 治	令和2年6月9日
		長谷川 英 司	平成30年6月7日
		服 藤 知 晃	令和6年6月11日
		堀 誠	令和4年6月10日
監 事	2	西 尾 三永子	令和6年6月11日
		村 松 光 則	令和4年6月10日

6 評議員に関する事項

役職名	人 数	氏 名	就任年月日
評議員	13	阿 部 伸一郎	平成28年 6 月 2 日
		安 藤 俊 幸	平成30年 6 月 7 日
		井 口 英 一	平成24年 4 月 1 日
		市 川 祥 子	平成28年 6 月 2 日
		大 塩 康 彦	平成25年 5 月29日
		各 務 一 彦	令和 2 年 6 月 9 日
		小 板 幸 光	平成28年 6 月 2 日
		後 藤 光 男	令和 4 年 6 月10日
		菅 原 真 弓	令和 6 年11月14日
		中 島 克 子	令和 2 年 6 月 9 日
		鈴 村 幸 宣	令和 5 年 6 月 9 日
		長 瀬 久美子	令和 5 年 6 月 9 日
		楨 島 春 枝	平成24年 4 月 1 日

7 職員に関する事項

区 分	担 当	人 数	備 考
美術館長 (嘱託・事務局長)	統 括	1	
事務職員	学芸係長	1	
嘱託職員	総務係長	1	
嘱託職員	学芸員	2	
嘱託職員	デザイナー	1	
嘱託職員	案内・ショップ	1	
臨時職員	案内・ショップ	1	
臨時職員	学芸補助	1	

8 附属明細書

令和 6 年度事業報告においては、「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当するものはない。